

＝全職場で、臨大方針討議進む＝

自信が上がる動き

進む職場討議

地本は二月二一日地本組織部長会議を開催した。会議は千葉地本に対する組織破壊攻撃粉碎、組織強化・拡大を中心とする当面の具体的取りくみについて、論議決定するとともに「二・一〇臨時大会方針」を高くかかげ、動労の改革路線の再建にむけて一致団結し、最後まで闘い抜く決意を打ち固めた。

全ての支部から、この間の精力的に取りくんできた職場集会・対話オルグ・機関開催など、多くの職場活動をつみ重ねてきた自信の上に立った発言があいつぎ、苦労話なども含めて活発な論議が行なわれた。

組織部長会議での主な意見は

衆度重なる職場集会、個別対話オルグの中で対本部との関係では全員の意志結集ができた。競合職場で他労組の動きがあるが、今後の闘いの中で克服できる。

衆動労の単独支部としてこの間の職場討議で団結して闘って行く自信ができた。本部のやり方には、ほぼ全員の憤激が強い。衆元来家族的なままとまりのある支部ではあるが、今回は、臨大方針のもとに闘って行くという路線的な意志統一が強固にできてきた。

衆色々な疑問や不安をもった組合員もいたが二・一〇臨大方針が出てから全員スッキリした。路線的に自信をもってきている。

衆支部は小さいが、年輩者の関心が非常に高く、臨大にも三分の一を上まわる組合員が自主的に傍聴に参加した。一刻も早く動労を改革しなければならぬという空気が強い。一人の脱落者もなく団結できる。

このあと、組織拡大、新採獲得、OB会、家族組合、学園対策について討議を行ない、次の点を意志統一し、七時間にわたる会議を成功裡に終了した。

動労の戦闘的伝統を正しく継承しているのはわれわれと、われわれの闘いである。われわれは、激動の八〇年代を、労働者の階級的・本質的利益を守り抜くために闘う。われわれは三里塚・芝山連合空港反対同盟との労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争貫徹に向けて決起する。われわれは「水本謀略運動」を糾弾し、動労の私物化とセクト的引きまわしに断を下す。われわれは「貨物安定宣言」を廃棄し、迫りくる国鉄大合理化攻撃に対決する闘いに決起する。全国の闘う仲間たち！ 闘いるときはきた！ いまこそ総決起しよう！

このような職場の声をくみ尽し、あらゆる場で創意工夫をこらし、更に討議を深め、闘いの戦列をうち固めていこう。
組織部長会議は、当面次のようなとりくみを強めることを確認した。

『臨大方針』の旗の下に！ ＝当面する方針＝

- ① 全組合員を対象とする職場集会、職種別・年代別対話オルグなどを開催し、臨大方針の徹底をはかる。
- ② 第三二回臨大方針にもとづき、活動を全組合員の創意性に依拠し大胆に展開する。
(職場要求の掘り起こし。 職場闘争の強化。 文化サークル活動の強化。 教宣活動、組合員教育の強化。)
- ③ 第二次支部間交流の実施。
二三日 二時三〇分 館山 木更津支部 (場所 木更津)
二三日 二時 成田 幕張支部 (場所 幕張)
" 二時 蘇我 新小岩 津田沼 (場所 蘇我)
- ④ 家族組合対策について。
『日刊動労千葉』家庭版の活用、全組合員の家庭持ち帰りの強化。

生活と権利を守り、動労の戦闘的再生をかけた一四〇〇名一丸となって前進しよう！